

フィンランド語文法：上級⑥

分詞構文（2）

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



受動分詞を使う分詞構文

- 分詞構文では受動分詞が使われることもあるが、やはり属格になる。

Tiedän Suomessa **juotavan** paljon kahvia.

= Tiedän, **että** Suomessa **juodaan** paljon kahvia.

「フィソソドではたくさんコーヒーを飲むことを私は知っている。」

- フィンランド語の受動形には主語がないので、属格の名詞を分詞の前に置くことはない。



現在分詞と過去分詞（１）

- 現在分詞は述語動詞と同じとき、あるいは未来の出来事を意味する。

Tiedän Suomessa **juotavan** paljon kahvia.

= Tiedän, **että** Suomessa **juodaan** paljon kahvia.

「フィソソドではたくさんコーヒーを飲むことを私は知っている。」

- juotavanという現在分詞は述語動詞 tiedän と同じときの出来事を表している。



現在分詞と過去分詞 (2)

- 過去分詞は述語動詞よりも過去（以前）の出来事を意味する。

Tiedän Suomessa **juodun** paljon viinaa.

= Tiedän, **että** Suomessa **juotiin** paljon viinaa.

「フィソソドではたくさん強い酒を飲んでいたことを私は知っている。」

- juodunという過去分詞は述語動詞 tiedänよりも過去（以前）のことを表している。



受動分詞を使う分詞構文—練習

●分詞構文に直してみる。

Näemme, että luistinradalla luistellaan.

我々はスケートリンクでスケートをしているのが見える。

Olet varmaan kuullut, että **tästä asiasta puhutaan**. (語順を修正)

この件について話されるのを君はきっと聞いたことがある。

Muistan, että viime jouluna syötiin hyvää ruokaa.

この間のクリスマスはおいしい料理を食べたのを覚えている。

Tiedän, että tässä kylässä on ennen puhuttu ruotsia.

この村では以前スウェーデン語が話されていたことを私は知っている。



受動分詞を使う分詞構文—練習解答

- 分詞構文に直してみる。

Näemme luistinradalla **luisteltavan**.

我々はスケートリンクでスケートをしているのが見える。

Olet varmaan kuullut **tästä asiasta puhuttavan**. (語順を修正)

この件について話されるのを君はきっと聞いたことがある。

Muistan viime jouluna **syödyn** hyvää ruokaa.

この間のクリスマスはおいしい料理を食べたのを覚えている。

Tiedän tässä kylässä ennen **puhutun** ruotsia.

この村では以前スウェーデン語が話されていたことを私は知っている。

分割された分詞構文（1）

- とくに文全体の述語動詞が受動形の場合には、分詞構文の主語に相当する語などが文頭に置かれ、分詞構文が分割されることがある。

Liisan luullaan lähtevän huomenna.

「Liisaは明日出発すると思われる。」

(**Luulen Liisan lähtevän huomanna.**

「Liisaは明日出発すると私は思う。」)



分割された分詞構文 (2)

- とくに文全体の述語動詞が受動形の場合には、分詞構文の主語に相当する語などが文頭に置かれ、分詞構文が分割されることがある。

Saamea tiedetään puhutun tällä alueella.

「サーミ語がこの地域で話されていたことが知られている。」

(**Tiedämme saamea puhutun** tällä alueella.

「サーミ語がこの地域で話されていたことを我々は知っている。」)



感覚に関わる動詞（１）

- 感覚に関わる動詞の多くは、名詞・形容詞をしたがえるときに奪格（向格）を要求する。

Se **kuulostaa hyvältä**. 「それはよさようだ」

Näytät väsyneeltä. 「君は疲れているように見える」

Se **tuntuu helpolta**. 「それは簡単に感じられる」

Hän **vaikuttaa fiksulta**. 「彼は頭がよさそうだ」



感覚に関わる動詞（2）

- 感覚に関わる動詞の多くは、動詞の分詞をとることができる。その際、分詞は属格になる。

Vauva **näyttää nukkuvan**. 「赤ん坊は寝ているようだ」

Pohjoisessa **kuuluu tulleen** jopa 10 cm lunta.

「北では10センチもの雪が降ったそうだ」

- 分詞に所有接尾辞はつかない。



感覚に関わる動詞と分詞一練習

- () 内の動詞を適切な形に直す。

Sari kuuluu (olla) sairas.

サリは病気だそうだ。

Te kuuluitte (olla) Turussa.

君たちはトゥルクにいたそうだね。

Oppaamme tuntuu (tietää) paljon.

我々のガイドは多くのことを知っているようだ。

Kaikki tuntuvat (unohtaa) tämän asian.

皆このことを忘れてしまったようだ。



感覚に関わる動詞と分詞—練習解答

- () 内の動詞を適切な形に直す。

Sari kuuluu (**olevan**) sairas.

サリは病気だそうだ。

Te kuuluitte (**olleen**) Turussa.

君たちはトゥルクにいたそうだね。

Oppaamme tuntuu (**tietävän**) paljon.

我々のガイドは多くのことを知っているようだ。

Kaikki tuntuvat (**unohtaneen**) tämän asian.

皆このことを忘れてしまったようだ。

